

## デジタルストロボスコープ

DT-311N (AC 電源型)  
DT-315N (充電式電池内蔵型)

### 取扱説明書

- ご購入機種をご確認のうえ、本取扱説明書に従ってご使用ください。
- 初めて使用される際には、充電を行ってください。(DT-315N)



DT-311N (AC 電源型)



DT-315N (充電式電池内蔵型)

この度は、弊社デジタルストロボスコープをお買い上げ頂き、誠に有難うございます。当製品の機能を十分に発揮させ、安全に末永くご使用頂くために、必ずご使用前に本取扱説明書をお読みください。

回転体や運動体にストロボの閃光を周期的に照射し、回転(運動)周期と閃光周期が一致した時、回転体の像は静止して見えます。ストロボスコープは、この静止像が見えた時の閃光周波数 (fpm) に換算してデジタル表示を読み取る無接触式の回転速度計です。この他、閃光周期を可変して高速運動体の動作を静止させたり、ストップモーション観察が可能です。

運転、保守・点検の前に、必ずこの取扱説明書をよく読んで正しくお使いください。

お使いになられる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。

## 安全上のご注意 必ずお守りください

- ・運転、保守・点検の前に、必ずこの取扱説明書をよく読んで、正しくご使用ください。機器の知識、安全の情報、そして注意事項のすべてについて熟読してからご使用してください。
- ・この取扱説明書では、注意事項を「危険」「警告」および「注意」として区分しています。いずれも安全に関する重要な内容です。必ず守ってください。



**危険**

この表示の欄の内容を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険、または火災の危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。



**注意**

取扱いを誤った場合に、軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定される場合を示しています。

### ●免責事項について

- ・本書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関しては、当社は一切責任を負いません。
- ・地震、当社に責任のない火災、第三者の行為、その他事故、お客様の故意または過失による誤用その他異常な条件下での使用により生じた損害に関しては、当社は一切責任を負いません。
- ・保証規定については、付属の保証書をお読みください。

## 危険



**引火・爆発の危険がある雰囲気では使用しない**  
火災・発火の原因になります。



**ランプの交換は、必ず電源コードを抜いてから行う**  
**充電型の場合**  
**ランプの交換は、必ずバッテリーを抜いてから行う**  
ランプの交換時に誤って発光すると、感電の恐れがあります。



**ランプの交換は発光停止後約 30 分 (ランプが冷えるまで) 経過してから行う**  
停止後すぐに交換すると、火傷を負う恐れがあります。













**発光中はランプを直視しない**  
ストロボスコープは強力な光を発するので、発光部を直視しないでください。目を損傷する恐れがあります。



**ケース内部は高電圧が発生しているので、分解したり、内部の基板などに触れない**  
感電の恐れがあります。

 **注 意**

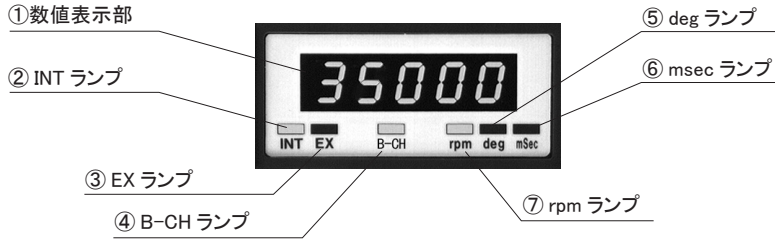
 <p><b>周囲温度が 0℃～ 40℃の範囲内で使用する</b> 使用温度範囲外で使用すると、誤動作や故障を引き起こす恐れがあります。</p>	 <p><b>発光部を下に置いて連続仕様しない</b> 空気の流通が悪くなり、ケース内部の温度が上昇して、誤動作や故障を引き起こす恐れがあります。</p>
 <p><b>AC プラグはコンセントにしっかり差し込む</b> 緩んだ状態で使用すると、火災の原因になる恐れがあります。</p>	 <p><b>AC プラグにほこりがついたまま使用しない</b> 火災の原因になる恐れがあります。</p>
 <p><b>AC100V ～ 120V 以外の電圧を使用しない</b> 規定電圧以外に接続すると、故障、火災の原因になる恐れがあります。</p>	 <p><b>電源コード損傷時やコンセントが暖かい時は使用しない</b> 感電、ショートの原因になります。</p>
 <p><b>AC アダプタまたは電源コードを濡れた手で抜き挿ししない</b> 感電や怪我の恐れがあります。</p>	 <p><b>AC アダプタのコードを引っ張って抜かない</b> コードが切れて感電の恐れがあります。</p>
 <p><b>強い衝撃を与えたり、落としたりしない</b> 異常動作の原因になります。</p>	 <p><b>AC アダプタでご使用の場合 使用後は、必ずコンセントから抜く</b> 本体を取外しても、AC アダプタがコンセントに差し込まれた状態のままでは、電気が流れています。必ずコンセントから抜いておいてください。</p>

**ご使用前の注意**

 <p><b>以下の環境での使用、保管はしない</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防爆処理が必要な場所</li> <li>・ 水、油、薬品、ホコリ等のかかる場所</li> <li>・ 高温 (40℃以上) になる場所</li> <li>・ 結露が発生する場所</li> </ul>	 <p><b>発光回数を変化させる際に、像が一瞬乱れる場合があります。内部のクロックを切替えるために生ずる現象であって、故障ではありません。</b></p>
 <p><b>底部のグリップ取付用ネジ穴を利用して、三脚など他の機器に取付ける場合は、必ずカメラ三脚ネジ (1/4-20UNC、長さ 8mm 以下) を使用する</b></p>	 <p><b>付属の AC アダプタ以外で充電しない</b> 火災・感電の原因になります。(DT-315N)</p>

# 各部名称と働き

## ■表示部



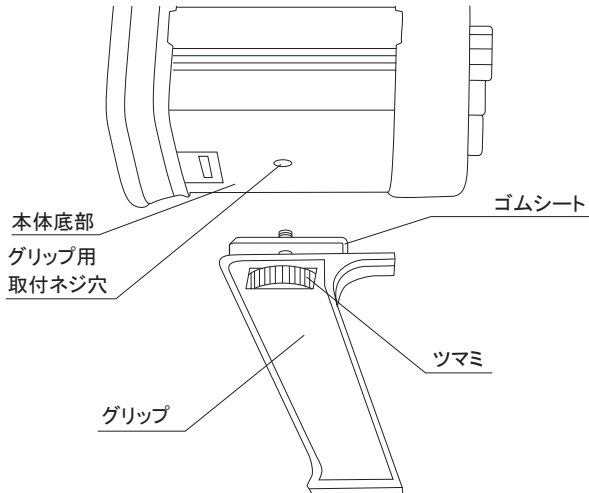
## ■操作部



※1 DT-315Nは充電用のアダプタ用コネクタになっています。

※2 底部のグリップ用取付ネジ穴を利用して、三脚など他の機器に取付ける場合は、必ずカメラ三脚ネジ(1/4-20UNC、長さ8mm以下)を使用してください。

各部名称	機能										
① 数值表示部	5桁赤色LED7セグメント。発光回数、遅延回数、または遅延時間を表示します。										
② INT ランプ	内部発振モード時に点灯します。										
③ EX ランプ	外部同期モード時に点灯します。										
④ B-CH ランプ	充電時に点灯します (DT-315Nのみ)										
⑤ deg ランプ	発光の遅延角度を数值表示部に表示しているときに点灯します。										
⑥ msec ランプ	発光の遅延時間を数值表示部に表示しているときに点灯します。										
⑦ rpm ランプ	発光回数を数值表示部に表示しているときに点灯します。										
⑧ 信号切替スイッチ	内部発振モードと外部同期モードを切替えます。押す毎に信号が替わり、表示部の [INT]、[EX] のLEDで示されます。 ・INT(内部発振モード)：設定器のツマミを回して発光を調整します。 ・EX(外部同期モード)：入出力コネクタからの外部の信号に同期して発光します。										
⑨ 2倍発光スイッチ	内部発振モード時、このスイッチを押すと発光回数が2倍になります。実回転数の確認に使用します。 ※但し、1750rpm以上で使用している時は、2倍になりません。										
⑩ 設定器	内部発振モード時、ツマミを回して発光回数を設定します。										
⑪ 1/2倍発光スイッチ	内部発振モード時、発光回数を1/2倍にします。実回転数の確認に使用します。 ※但し、79rpm以下で使用している時は、1/2倍になりません。										
⑫ 入出力コネクタ	外部の機器から信号を受けて、同期発光させたり、外部へ同期信号を出力するときに使用します。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>Pin No.</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>信号名</td> <td>+12V 電圧出力</td> <td>同期出力</td> <td>入力信号</td> <td>0V</td> </tr> </table> 	Pin No.	1	2	3	4	信号名	+12V 電圧出力	同期出力	入力信号	0V
Pin No.	1	2	3	4							
信号名	+12V 電圧出力	同期出力	入力信号	0V							
⑬ モード切替スイッチ	外部同期モード時、数值表示部に表示される単位を切替えます。 スイッチを押すたびに「発光回数→遅延角度→遅延時間」と表示が変わり、表示部のLEDで示されます。 ・rpm(発光回数) …毎分の発光回数を表示します。 ・deg(遅延角度) …外部入力に対する発光遅延角度を、1周期を360度として表示します。この角度は⑩の設定器で設定します。 ・msec…上記の遅延角度をmsec単位の時間に換算して表示します。 動作遅れ時間(タイミングズレ)の測定などに使用します。										
⑭ プラスシフトスイッチ	内部発振モード時、スイッチを押している間は、静止像が回転方向に移動します。 6秒間押し続けると静止像は1回転して元の位置に戻ります。像が見えにくい位置で静止したときなどに使用します。										
⑮ マイナスシフトスイッチ	内部発振モード時、スイッチを押している間は、静止像が回転方向と逆方向に移動します。 6秒間押し続けると静止像は1回転して元の位置に戻ります。像が見えにくい位置で静止したときなどに使用します。										
⑯ グリップ	取外して、カメラ用の三脚に取付可能です。										



■脱着式グリップ

ご使用前に付属のグリップを取付けてください。

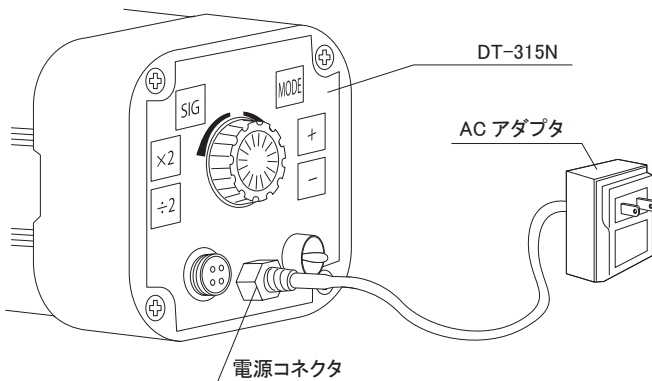
- ① ゴムシートのテープをはがし、クリップの上面に貼り付けます。



- ② 本体底部のネジ穴へ差し込み、グリップ側のツマミで締め込んでください。

本器は、カメラ用三脚にも取付可能です。この場合は必ず指定のネジの付いたものをご使用ください。  
※ 1/4-20UNC、長さ8mm 以下

充電（初めてご使用になる場合は、必ず充電してください）



■充電

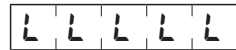
DT-315N は、充電完了の状態でご出荷しておりますが、初めてご使用されるときは、必ず充電してからご使用ください。また、充電前には、必ず電源スイッチが OFF になっていることをお確かめください。

- ① 電源スイッチを OFF にして、付属の AC アダプタの DC プラグを電源コネクタに差し込みます。次に、充電器の AC プラグを AC コンセントに差し込んでください。この状態で充電を開始します。  
※必ず付属の AC アダプタをご使用ください。



- ② 充電中は充電表示ランプが点灯し、約 2 時間で充電完了となり、ランプが消灯します。

電池電圧が低下すると数値表示部に右図の表示が点灯し、発光を停止します。この場合も上記の要領で充電してください。



- 注 1) 充電が終了すると、自動的にバッテリー充電を断つため過充電の心配はありません。
- 注 2) 充電中に電源スイッチを ON にすると、充電を中止して発光を開始します。AC アダプタを電源として運転している時は充電されません。
- 注 3) 電池残状態で充電した場合も満充電になると充電表示ランプは消灯しますが、電池本体の寿命に影響するため、充電はなるべく使い切った状態（数値表示部には「LLLLL」を表示）から行ってください。
- 注 4) 周囲温度が高いときに最高速度近辺で長時間発光させた直後に充電すると、温度上昇保護回路が働き、ランプが点灯しない場合があります。その場合、内部温度が下がるまでしばらく放置した後に、AC アダプタを接続して充電を行ってください。



付属以外の AC アダプタでの充電、可燃物の近くでの充電は絶対にしないでください。

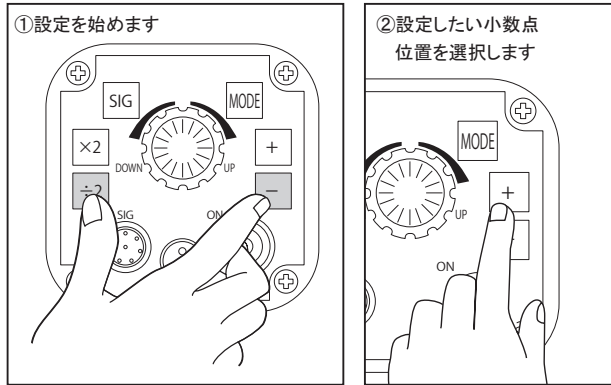
# 小数点 / タイマ / 入力信号の極性設定 (各設定は電源 ON の状態で行なってください)

## ■小数点の設定

内部発振モード時のみ設定可能です。

小数点を設定することで、より正確な静止像や回転数を得ることが出来ます。小数点の設定可能範囲は 40.0 ~ 9999.5rpm です。

出荷時は「小数点あり」に設定しています。



※設定中にモードを変更すると、発光は停止します。  
 ※電源再投入後も設定値は記憶されています。

### 操作方法

### 表示 (数値表示部)

1

【÷2】と【-】を同時に2秒間押します。  
 ※左図①参照  
 ※出荷時の設定値: 「 0.0」(小数点あり)

2

【+】を押すたびに0.0 (小数点あり)と0 (小数点なし)が切り換わるので0.0を選びます。  
 ※左図②参照

3

引き続きタイマの設定をする場合は【MODE】を押します。

設定を終了する時は【SIG】を押します。

■タイマの設定へ

■設定終了へ

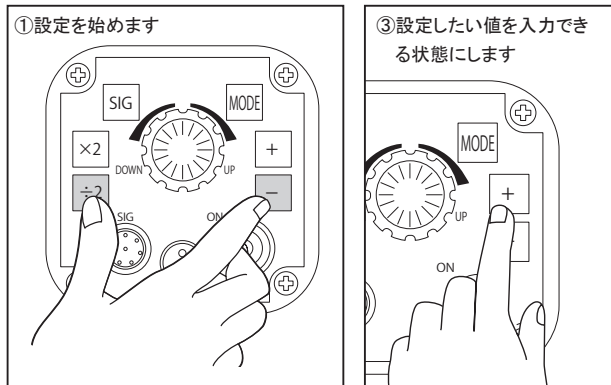
その時の設定値を表示します。

## ■タイマの設定

ランプの消耗防止や充電容量の浪費削減のため、発光タイマの設定が可能です。タイマ設定時間が経過すると、自動的に発光を停止し、数値表示部に「OFF」を表示します。

設定は、設定器ツマミにより連続と1~120分内で任意に設定できます。

出荷時は「 0」(連続)に設定しています。



※設定中にモードを変更すると、発光は停止します。  
 ※電源再投入後も設定値は記憶されています。

### 操作方法

### 表示 (数値表示部)

1

【÷2】と【-】を同時に2秒間押します。  
 ※左図①参照

2

【MODE】を1回押し、「発光タイマ設定モード」にします。  
 ※出荷時の設定値: 「 0」(連続)

3

【+】を押すと、表示が「 0」で止まります。  
 ※左図③参照

4

設定器ツマミで希望の発光タイマ時間を設定します。

5

引き続き「入力信号の極性設定」を行う時は【MODE】を押します。  
 ※出荷時の設定値: 「 L-H」(立ち上がりで発光)

設定を終了する時は【SIG】を押します。

■設定終了へ

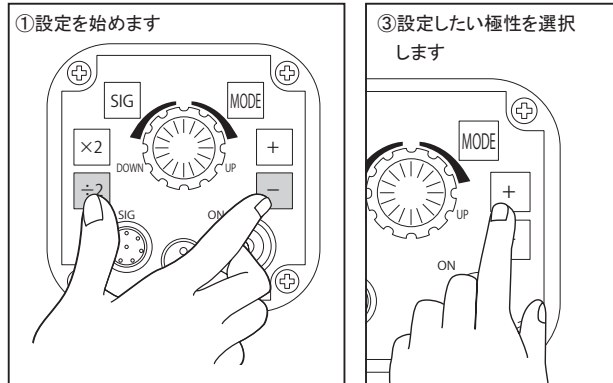
4、5 は続けて操作してください。  
 続けて操作しない場合は、発光しないことがあります。  
 このときは電源を再投入してください。

## ■入力信号の極性設定

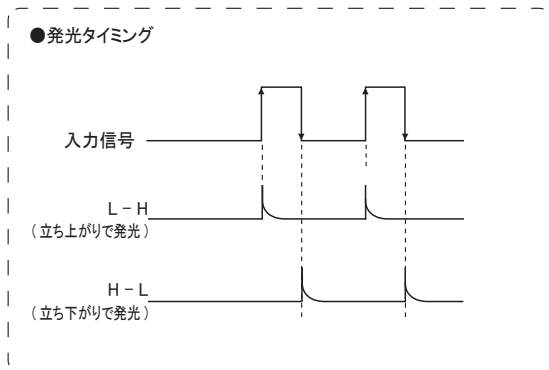
外部同期モード時のみ可能です。

外部からの入力信号に同期して発光するタイミングを、「L→H(立ち上がり時に発光)」または「H→L(立ち下がり時に発光)」から選択することができます。

出荷時は「L→H(立ち上がり時に発光)」に設定しています。



※設定中にモードを変更すると、発光は停止します。  
 ※電源再投入後も設定値は記憶されています。



### 操作方法

### 表示(数値表示部)

1



【÷2】と【-】を同時に2秒間押します。  
 ※左図①参照



2



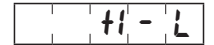
【MODE】を2回押し、「入力信号の極性設定モード」に入ります。  
 ※出荷時の設定値:「L-H」  
 (立ち上がりで発光)



3



【+】を押すたびに、「L-H(立ち上がり時に発光)」と「H-L(立ち下がり時に発光)」が交互に切替わります。  
 ※左図③参照



H-L(立ち下がり時に発光)  
 に設定する場合

4



設定を終了する時は【SIG】を押します。

### ■設定終了へ



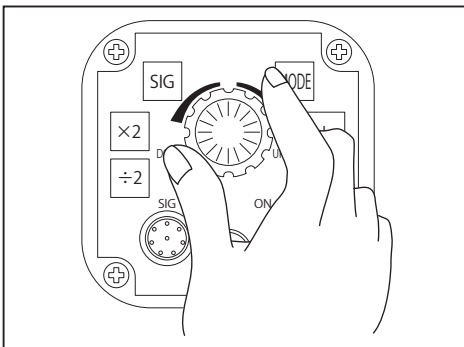
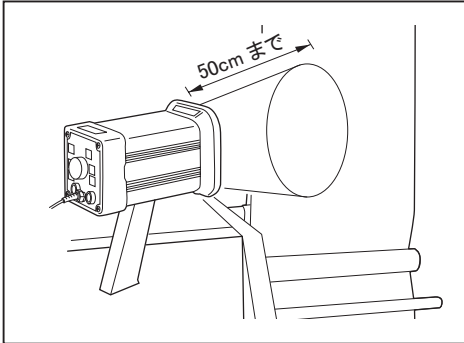
その時の設定値を表示します

## 測定方法 -1 内部発振モードで使用するとき

本器は、設定器で発光回数を調整する**内部発振モード**と、外部信号と同期させ発光する**外部同期モード**の2つの測定方法があります。  
 ※ DT-315Nをご使用の場合は、必ず充電してからご使用ください。(充電方法についてはP4をご参照ください。)

### ■内部発振モード

ストロボスコープ内部の水晶発振器の信号を元に40～35000rpmの範囲で発光するモードです。



### 操作方法

1 電源コードのプラグをAC100Vのコンセントに差し込み、電源スイッチをONにします。(DT-311Nのみ)

2 【INT】ランプの点灯を確認します。このランプが点灯していない場合は、信号切替えスイッチを押して【INT】ランプを点灯させてください。この時【rpm】ランプは自動的に点灯します。

3 ランプを被測定物に向けて照射します。

※被測定体との距離は50cmまでが最適です。  
 距離が離れると照射像が不鮮明になります。

### 回転数の計測

4 設定器のつまみを時計回りに回すと発光回数が早くなり、反時計回りに回すと発光回数が遅くなります。  
 (発光回数の範囲は40～35000rpmです。)  
 ※設定器つまみは速く回すほど、設定値が大きくなります。

- 静止像が得られたら【×2】【÷2】のスイッチを押します。
- 【×2】を押すと、180°位相のずれた2つの静止像が見えます。
- 【÷2】を押すと、1つの静止像が同じように見えます。

この時、表示値と実際の回転速度が一致しています。

- また【+】【-】のスイッチを押し、静止像を見やすい位置に移動させます。
- 【+】を押している間は、静止像が回転(移動)方向に移動します。  
 6秒間押し続けると、静止像は元の位置に戻ります。
- 【-】を押している間は、静止像が回転(移動)方向と逆に移動します。  
 6秒間押し続けると、静止像は元の位置に戻ります。

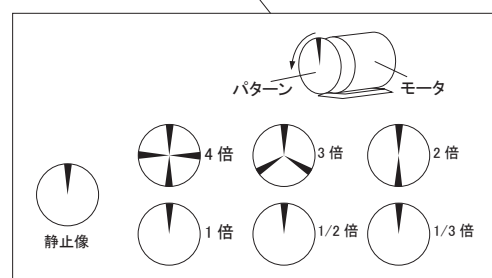
5 測定中に電源をOFFにすると、電源の供給を断ち、発光を停止します。このときの発光回数を記憶するので、次に電源をONにしたときには、OFF時と同じ発光回数で発光します。

### 回転速度と静止像の数について

ストロボスコープの回転速度計の特性として、閃光回数(周波数)が被測定体の回転速度数の整数分の1(1/2、1/3...)の場合にも静止像が1つ見えます。また、整数倍(2倍、3倍、4倍...)の場合は、静止像は整数倍になって見えます。予知できない回転速度を測定する場合は、閃光回数を高いほうから少しずつ下げて、最初に1つの静止像が見えた時の値を読んでください。

回転体の回転速度 (rpm)	ストロボの閃光回数 (FPM)	閃光回数 / 回転数	静止像の数
900rpmで回転している場合	3600	4倍	4
	2700	3倍	3
	1800	2倍	2
	900	1倍	1
	450	1/2倍	1
	300	1/3倍	1

※実際の回転速度の整数分の1(1/2、1/3...)に合わせた時は同じ様に静止像が見え、整数倍(2倍、3倍...)にあわせた時は位相のずれ重なった静止像が見えますので【×2】【÷2】スイッチを有効に使用して、正しい測定を行ってください。

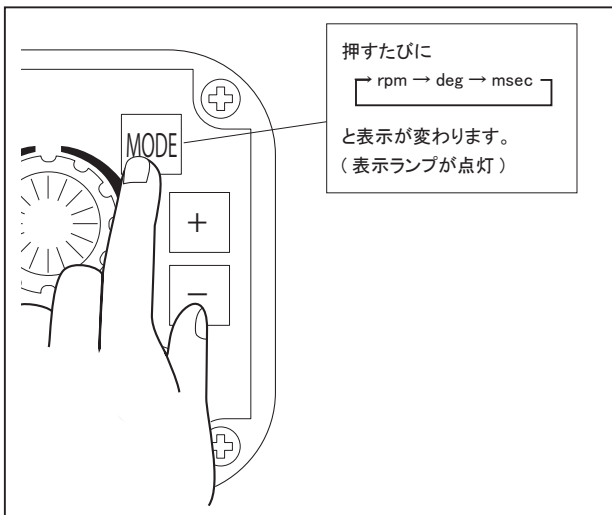
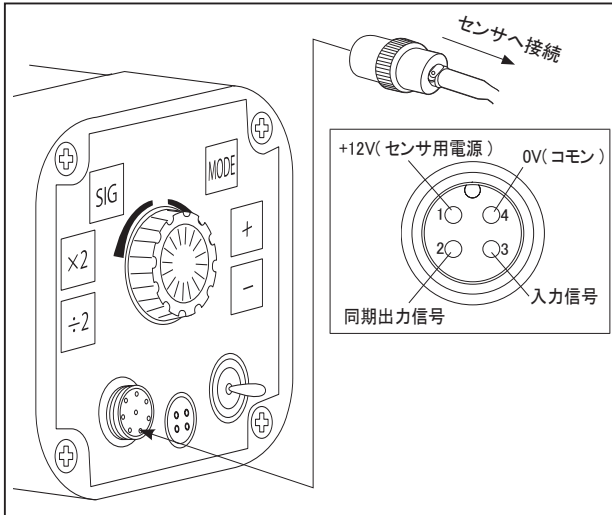


## 測定方法 -2 外部同期モードで使用するとき

※ DT-315N をご使用の場合は、必ず充電してからご使用ください。(充電方法については P4 をご参照ください。)

### ■外部同期モード

検出器 (1 回転 1 パルスの近接スイッチなど) を回転体と連動して、確実な同期閃光でストップモーションが観察できるモードです。



### 操作方法

1

付属のコネクタに信号線をハンダ付けし、本体の入出力信号コネクタに接続してください。

2

電源コードのプラグを AC100V のコンセントに差し込み、電源スイッチを ON にします。

3

【EX】ランプ (外部同期モード) の点灯を確認してください。  
【INT】ランプ (内部発振モード) が点灯した場合は、【SIG】スイッチ (信号切替) を押して外部同期モードに切替えてください。

4

モード切替スイッチを押して、動作モード (表示単位) を選択してください。

<b>発光回数 (rpm)</b>	
入力信号が L レベルから H レベルに切替わるときに発光します。表示値は入力信号の rpm 換算値です。	
<b>遅延角度 (deg)</b>	
入力信号の 1 周期を 360° とし、0 ~ 359° まで遅延して発光します。表示値は遅延角度です。遅延角度は設定器で変更可能です。	
<b>遅延時間 (msec)</b>	
遅延時間を msec 単位の時間で表示します。	

5

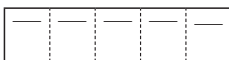
入力信号周波数が上・下限値を超えた時は、表示値の上・下限のアラームマークを表示して発光を停止します。  
・上限値を超えた場合: 「        」が点滅  
・下限値未満の場合: 「        」が点滅  
※下記参照

## アラームマーク 外部同期モードで使用するとき

外部同期モードで、入力信号周波数が上下限値を超えたとき、以下のようなアラームマークを表示して発行を停止します。

### ■ rpm 表示

入力信号が 35000rpm(584Hz) 以上の時、オーバーマークが点滅

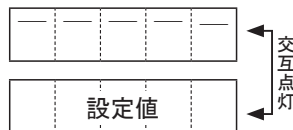


入力信号が 40.0rpm(0.66Hz) 以下の時、アンダーマークが点滅

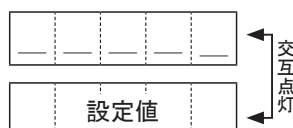


### ■ deg 表示

入力信号が 10000rpm(167Hz) 以上の時、オーバーマークと設定値が交互に表示

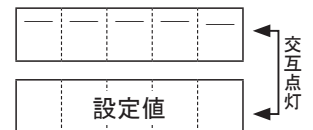


入力信号が 40rpm(0.66Hz) 以下の時、アンダーマークと設定値が交互に表示

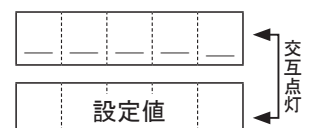


### ■ msec 表示

入力信号が 10000rpm(167Hz) 以上の時、オーバーマークと設定値が交互に表示



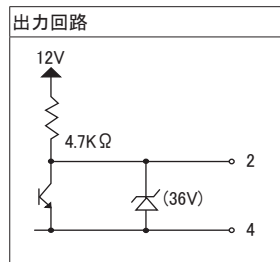
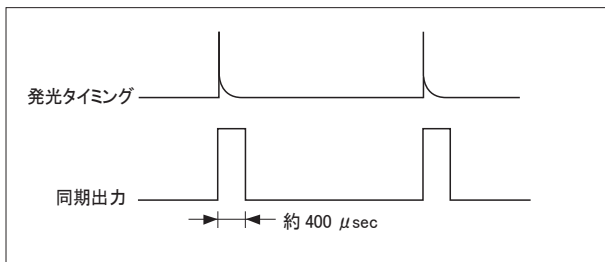
入力信号が 40rpm(0.66Hz) 以下の時、アンダーマークと設定値が交互に表示





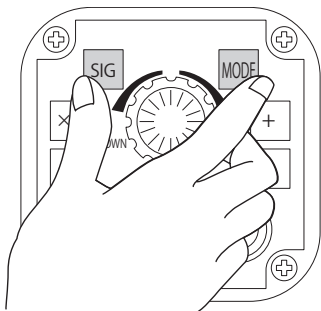
## 同期信号出力

複数台同時に発光させて使用する場合（1台から2台まで）やアナログ信号変換器の信号源として利用できます。  
入力信号コネクタの2番ピンから同期信号は出力されます。



## メモリ機能

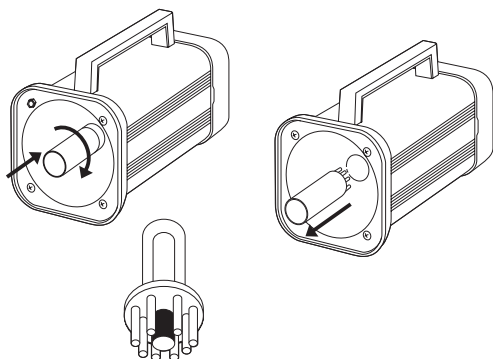
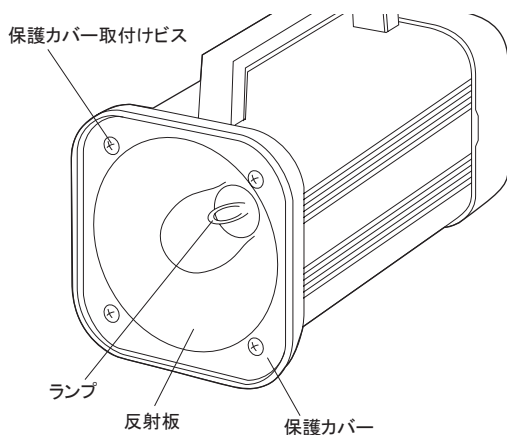
最終設定値を自動的に記憶し、電源再投入したときに、この最終設定値を再び表示するメモリ機能が付いています。  
但し、過大なノイズが印加されるとメモリが失われます。この場合は【SIG】と【MODE】のスイッチを同時に押しながら電源スイッチをONにしてください。  
工場出荷時の初期値（600.0）にメモリが戻ります。



## キセノンランプの交換

DT-311N/DT-315N

キセノンランプの発光回数の寿命は、約  $10^8$  回です。



使用中に発光しなくなったり、無音で青白く発光したときは、ランプの寿命ですので次の要領で新しいものと交換してください。ランプは必ず別売りの指定品を使用してください。お求めは当社（お客様サービスセンター）または当製品をお買い求めの販売店までお問い合わせください。



ランプ交換は発光停止後 30 分（ランプが冷えるまで）経過してから行ってください。（停止後すぐに行きますと、ランプが熱く火傷を負う恐れがあります。）

①前面の保護カバー取付けビス 4 個を外します。



②反射板を外し、脱着工具（交換用ランプに付属）をランプの根元まで差込み、2～3 回時計方向に回してから手前に引くとランプがソケットから抜けます。



ランプを直接引っ張らないでください。（割れてケガをする恐れがあります）



③新しいランプを着脱工具にはめ、ソケットに差し込んでください。



④着脱工具を外し、反射板を中央に正しく取付けます。このとき、反射板がケースの溝に正しくはまるように、注意して取付けてください。

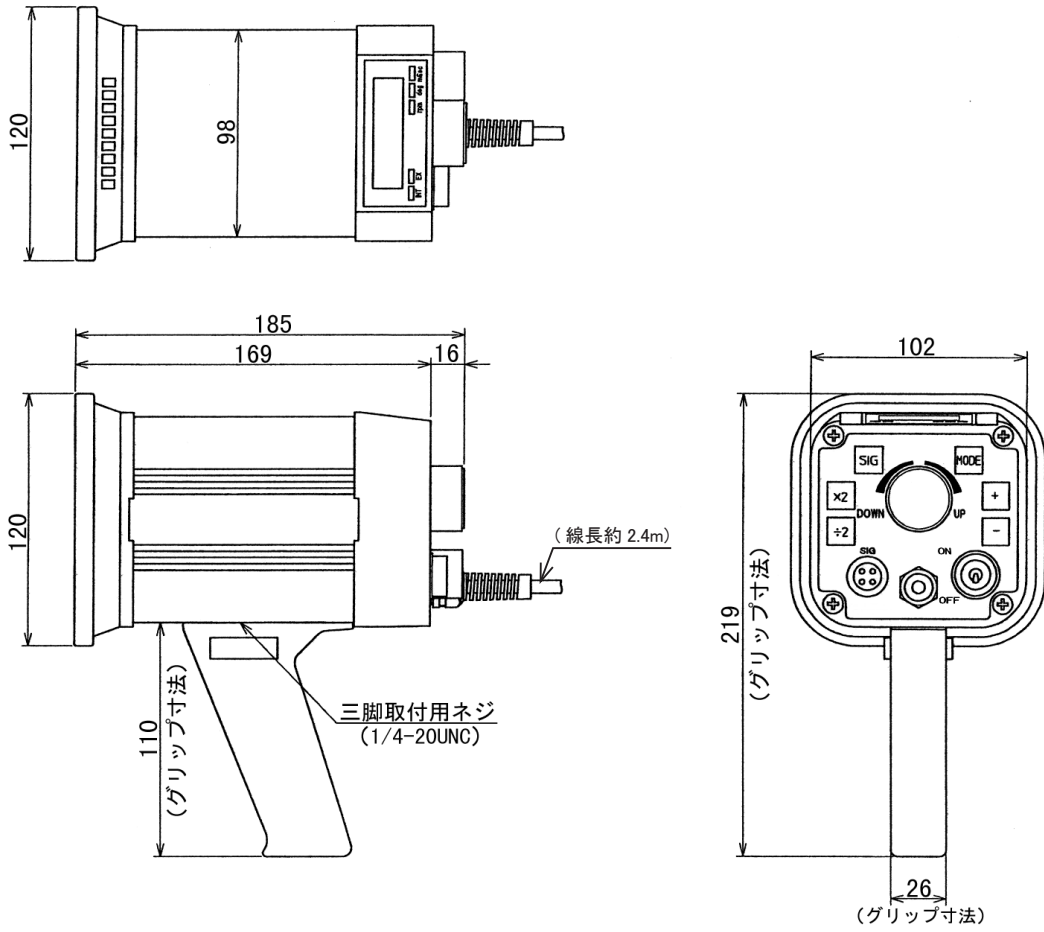


⑤保護カバーを取付けます。

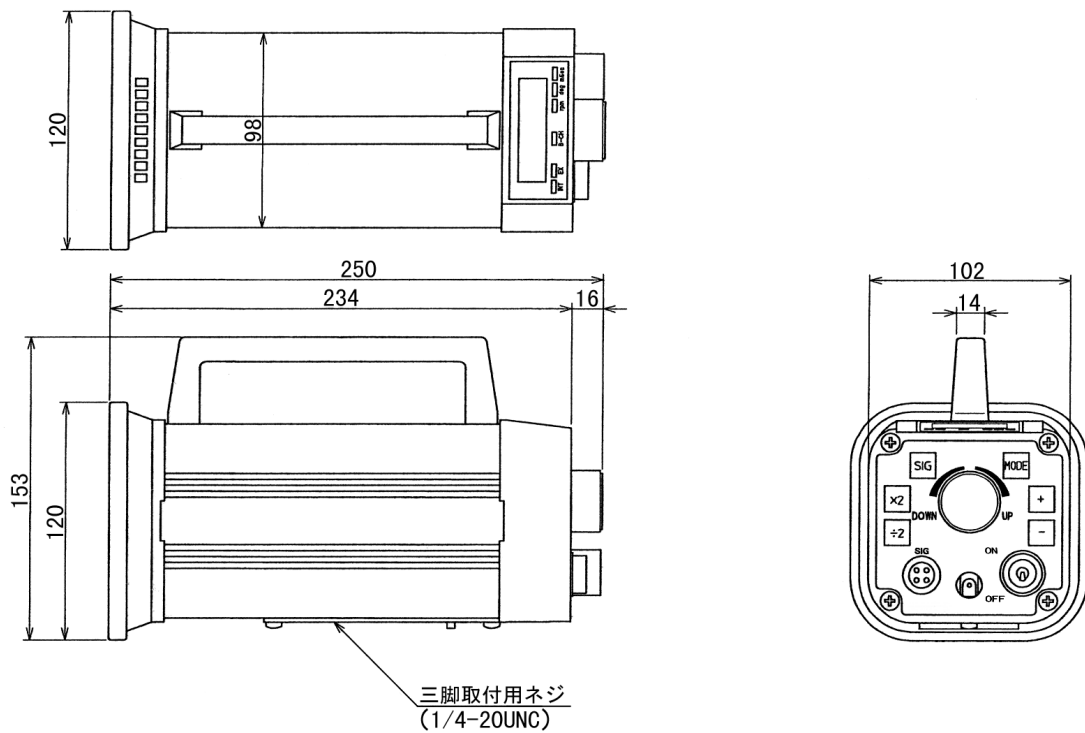


寸法図

DT-311N



DT-315N



## ストロボスコープのQ&A【動かない、あるいは故障と思われる質問】

質問	要因	原因	処置
電源を入れるとLLLLLと表示し、発光しない (315N)	→ バッテリーの電圧が低い	→ バッテリーが充電されていない	→ バッテリーを充電してください
完全に充電したのにすぐLLLLLとなる	→ バッテリーの容量が少ない	→ バッテリーの寿命 → バッテリーの故障 → 充電回路の故障	→ バッテリーを交換して改善されない場合は修理に出してください
ACアダプタを入れても発光しない	→ 電池が消耗している → 本体に電源が供給されていない	→ 電池の電圧が下がりすぎている → ACアダプタが接続されていない → ACアダプタが壊れている	→ しばらく充電して再度試してください → コンセントに差し込んでください → 修理に出してください
ACアダプタを差し込んでいるときは発光するが、抜くと止まる	→ バッテリーの寿命、充電回路の故障	→ バッテリーが充電できない	→ バッテリーを交換して改善されない場合は修理に出してください
充電が終わらずB-CHランプが点灯したままになる	→ バッテリーの寿命、充電回路の故障	→ バッテリーが充電できない	→ バッテリーを交換して改善されない場合は修理に出してください
発光がばらつく	→ キセノンランプの不良	→ キセノンランプの寿命 → 内部回路の故障	→ キセノンランプを交換してください → 改善しない時は修理に出してください
時々発光が止まる	→ キセノンランプの不良	→ キセノンランプの寿命 → 内部回路の故障	→ キセノンランプを交換してください → 改善しない時は修理に出してください
設定器を回しても発光周期が変化しない	→ 内部回路の異常	→ 内部回路の故障	→ 修理に出してください
設定器を回したら表示は変化するが発光しない	→ 内部回路の異常	→ キセノン発光回路の故障	→ 修理に出してください
発光するが表示値と合わない	→ 内部回路の異常	→ 内部回路の故障	→ 修理に出してください
デジタル表示はするが、発光しない	→ キセノンランプや内部回路の不良	→ キセノンランプの寿命 → 内部回路の故障	→ キセノンランプを交換してください → 改善しない時は修理に出してください
ランプが発光しない、表示も出ない	→ 内部回路の異常	→ 内部回路の故障	→ 修理に出してください
完全に静止しない	→ 回転速度が正確に設定できない	→ 設定分解能が0.1rpmのため	→ ○○○. ○6など小数点以下2位は設定できません

## ストロボスコープのよくある質問

質問	説明	参考
→ キセノンランプの寿命はどれくらいですか？	→ 発光回数約 10 <sup>8</sup> 回です	→ 15000rpm で約 100 時間です
→ 1回の充電で使用時間はどれくらいですか？	→ 発光回数により異なります	→ 30000FPM で約 1 時間です
→ 電池の寿命はどれくらいですか？	→ 使用状況や充電間隔により異なります	→ 完全充放電で 300 回以上です → 使用時間が半分になれば寿命です
→ 2m 離れていますが見えますか？	→ 回転している物や周りの環境に影響します	→ デモ機で確認してください
→ ビデオ撮影したいのですが	→ できません	→ ビデオ用の信号は出ていません
→ 写真で撮れますか？	→ できません	→ カメラ用の信号は出ていません
→ 200V で使用したいのですが	→ 国内向けは 100 V 仕様です	→ 汎用型の 315N の充電式は 240V までのフリー電源です
→ 食品関係で使用しますが、洗浄できますか？	→ 防水構造ではありません	→ 洗浄しないでください
→ 防爆の機種はありますか？	→ ありません	→ 現状では作れません
→ RS - 232C は付いていますか？	→ 付いていません	→ 発光の同期信号のみです

## ニデックドライブテクノロジー株式会社

### 各種 WEB ページご案内



お電話・問合せフォームでのお問い合わせはこちら

<https://www.nidec.com/jp/nidec-drivetechnology/inquiry/>



国内外営業拠点情報

<https://www.nidec.com/jp/nidec-drivetechnology/corporate/network/sales/>

Copyright NIDEC DRIVE TECHNOLOGY Corporation. All Rights Reserved.

## ニデックドライブテクノロジー株式会社

日本電産シンボ株式会社は 2023 年 4 月 1 日に「ニデックドライブテクノロジー株式会社」に社名変更しました